

留学・研究休暇教育職員

2013年度 留学教育職員

2013年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	留学先		目的
人文学部	SAGAYARAJ, Antonyamy	准教授	2013.4.1～2014.3.31	国内	国立民族学博物館民族文化研究部	南インド・タミルナードゥ州におけるドラヴィダ運動についての人類学的研究
外国語学部	太田 達也	准教授	2012.9.10～2013.9.9	ドイツ連邦共和国	ハレ大学独語独文学研究所	「日本語を母語話者とするドイツ語学習者の作文プロセスに関する実証的研究」をさらに深化させるため
	花 木 亨	准教授	2013.8.19～2014.8.18	アメリカ合衆国	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校コミュニケーション学科	アメリカ合衆国と日本におけるコミュニケーション現象についての研究
経済学部	吉見 太洋	講師	2012.9.1～2014.2.28	アメリカ合衆国	コロムビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所	企業の資金調達行動を考慮した為替相場制度選択モデルの構築
ビジネス研究科	山下 忠康	准教授	2013.4.1～2014.3.31	国内	関西学院大学	金融商品販売業者における「適合性原則」確認プロセス
情報理工学部	吉田 敦	教授	2013.3.15～2014.3.14	カナダ	クイーンズ大学	構文規則から逸脱した記述を許容するプログラム解析系の構築手法に関する研究

2013年度 研究休暇教育職員

2013年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	研究休暇先		目的
人文学部	坂本 正	教授	2013.4.1～2014.3.31	国内(主として自宅および本学研究室)		第二言語習得研究におけるフィードバックの有効性を検討し、認知アプローチの習得理論の深化を図ると同時に、フィードバックがいかに語学教育に応用できるかを考察する
	西岡 淳	教授	2013.9.16～2014.9.15	国内(主として自宅および本学研究室)		南宋詩に関する研究の深化および蘇軾詩の注解原稿作成のため
外国語学部	小林 寧子	教授	2013.4.1～2013.9.15	国立文書館(ハーグ)、王立地理言語研究所KITLV(ライデン)、国立図書館(ジャカルタ)など		研究テーマ「インドネシア・ムスリムとモダニティ:1930年代を中心に」
	藤本 博	教授	2013.4.1～2014.3.31	自宅、本学研究室およびアメリカ合衆国における公文書館・図書館		「アメリカの戦争」としてのベトナム戦争の実相とその遺産に関する総合的研究
経済学部	林 尚志	教授	2013.4.1～2014.3.31	自宅、本学研究室		日系企業アジア子会社における現地人材の育成、ならびにその発展が日系企業の日本本社に及ぼす影響に関する研究
法務研究科	唐津 博	教授	2012.9.1～2013.8.31	国内(本学研究室および自宅)		労働契約論についての研究の一層の深化を図り、協同研究書の刊行に向けた研究発表等を重ねる
情報理工学部	松田 眞一	教授	2013.4.1～2014.3.31	主に本学研究室		以下の2つの共同研究に対して成果を挙げる。 (1) 医学統計 分割表の多重比較を中心とした医学統計に関する研究 (2) 品質管理 タグチメソッド、管理図、グラフィカルモデリングなどの品質管理の問題に関する研究

2013年度 教員交流

2013年5月1日現在

学部・研究科	氏名	職名	期間	研究休暇先		目的
総合政策学部	MUNCADA, Felipe	教授	2013.4.1～2013.9.15	フィリピン共和国	サン・カルロス大学社会人類学部	学術交流協定に基づく教育・研究の推進のため